

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	青森市立北小学校
授業者	川越 汐里

### 1. 単元計画

#### 1-1. 単元名

海博士になろう

#### 1-2. 学年

3 学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

「浅虫水族館のバックヤード見学」「浅虫水族館職員による食育授業」「ゆ～さ浅虫見学」「自然とふれあい学習会（地引き網体験）」の4つの学習内容を包括的に捉え学習する。

##### ～主な活動～

- 海について知っていることや調べたいことについて話し合う。
- 浅虫水族館のバックヤードを見学する。
- 水族館職員による魚の食育授業
- ゆ～さ浅虫を見学する。
- 「自然とふれあい学習会」（地引網体験）に参加する。
- 学習したことをまとめる。
- 発表会をする。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童が海の生き物や、海の生き物を養殖している人々・漁業を行っている人々に関心をもち、見学や体験活動を通して情報を集め、分かったことや考えたことを自分の言葉で表現する体験的な活動を行うことにより、海の生き物を飼育している人々や漁業を行っている人々の願いや苦勞に気付き、海に対する思いを高め、海を大切にしようとする心情を養う。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 関心のあることや調べたいことなどをもとに課題を設定し、海の生き物や、海の生き物を養殖する仕事・漁業などについて資料や情報を進んで収集し、仕事内容の概要を理解する力。
- ・ 収集した情報を比較・分類しながら整理し、海の生き物や海を利用する仕事に携わる人々の願いや苦勞について考え、自分の言葉でまとめる力。
- ・ 海の生き物を養殖している人々や漁業を行っている人々の願いを共感的に捉え、海を大切にするために自分なりにできることを実行しようとする態度。

1-7. 単元の展開（全26時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 時	<p><b>海について知っていることや調べたいことを話し合おう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海について知っていることを発表する。</li> <li>海について調べたいことをワークシートに書き出す。</li> <li>意見交流をして、自分が調べたい課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海について知っていることや調べたいことを児童に質問し、出た意見を黒板に書き出す。</li> <li>今後の学習の見通しをもたせる。</li> </ul> <p>【評】海について知っていることを思い出して考え、自分なりに調べてみたいことを明らかにしているか。</p>
2 ・ 3 時	<p><b>調べたいことの、情報の集め方を知ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DVD鑑賞</li> <li>図鑑や事典の使い方を知る。</li> <li>インターネット検索の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学や体験学習、外部講師からの情報以外に、自分達で情報を集める方法を学ばせる。</li> </ul> <p>【教】「学研の図鑑 魚」 「学研の図鑑 水の生き物」 「むつわんだいすき」(DVD)</p> <p>【評】情報収集の仕方を理解しているか。</p>
4 時	<p><b>浅虫水族館のバックヤード・ゆ〜さ浅虫の見学の準備をしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見学の自己目標を立てる。</li> <li>しおりの内容を確認する。</li> <li>質問したいことを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学のマナーや当日の日程を確認する。</li> <li>自己目標と質問したいことをしおりに書かせる。</li> </ul> <p>【評】海の生き物や海に関わる仕事について、質問したいことを考えているか。</p>
5 〜 8 時	<p><b>浅虫水族館のバックヤード・ゆ〜さ浅虫の見学をしよう</b> (浅虫水族館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バックヤードを見学して、水族館職員に質問をする。</li> <li>学級全体でイルカショーを見学する。</li> <li>4班に分かれて施設見学・施設(生き物)の写真撮影をする。</li> </ul> <p>(ゆ〜さ浅虫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆ〜さ浅虫館内の見学をする。</li> </ul> <p>(浅虫水族館職員による食育授業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の食事の魚離れについての講義を聞く。</li> <li>自分の食事について振り返る。</li> <li>地元で捕れる魚や海産物を使った料理の模型を見ながら身近な食と水産物との関わりを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水槽を真上から見せて水槽展示の工夫を説明したり、海水についてパネルを使って説明したりする。</li> <li>教師は海の生き物と浅虫水族館職員の仕事内容との関わりを児童に教える。</li> <li>児童と一緒に水族館内を見学しながら、海の生き物についての疑問について答えたり、見学の記録をしたりする。</li> </ul> <p>【外】県営浅虫水族館職員 青森市水産振興センター職員</p> <p>【評】海の生き物に関心をもち、地元で捕れる水産物を使用した料理や海を利用する仕事について、知りたいことの情報収集を進んで行い、漁業者と水族館との関わりを知ることができたか。</p>

9時	<b>見学のまとめと振り返りをしよう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学をして分かったことや考えたことなどをまとめる。</li> <li>・海の生き物や海に関わる仕事に携わる人々の願いを考えながら活動を振り返り、しおりに記入する。</li> <li>・振り返った内容を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学をして分かったことや考えたことなどをしおりにまとめさせる。</li> </ul> <p>【評】 収集した情報を比較・分類しながら整理し、自分の言葉で表しているか。</p>
10時	<b>「自然とふれあい学習会」に参加して、海の生き物について知ろう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地引き網体験をする。</li> <li>・魚に触れる際の注意事項を知る。</li> <li>・水産振興センターの職員から、釣れた魚の生態についての話を聞く。</li> <li>・魚を実際に見たり触ったりする体験をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網を引く際の注意事項を確認してもらう。</li> <li>・魚に触る際の注意事項と観察の観点を確認してもらう。</li> <li>・網を引く際の注意事項を確認してもらう。</li> <li>・魚をさわる際の注意事項と観察の観点を確認してもらう。</li> </ul> <p>【外】 奥内漁業研究会・青森市水産振興センター 【評】 関心のあることや調べたいことなどをもとに、海の生き物や海に関わる仕事について知ることができたか。</p>
11時	<b>「自然とふれあい学習会」をふり返ろう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の感想を発表する。</li> <li>・日記を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことをもとに、海の生き物や海に関わる仕事に携わる人々の願いを考えながら書くよう助言する。</li> </ul> <p>【評】 収集した情報を整理し、海の生き物や海に関わる仕事に携わる人々の願いを考え、自分の言葉で表しているか。</p>
12時 ～ 19時	<b>発表資料を作ろう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学の振り返りをもとに、記事にしたい内容を決定する。</li> <li>・発表資料の作り方を知る。</li> <li>・記事を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学の振り返りをさせる。</li> <li>・発表資料にどんな内容を書くと、海の生き物や海に関わる仕事について相手に伝えることができるかを確認する。</li> <li>・発表資料の見本を提示する。</li> <li>・記事を添削する。</li> </ul> <p>【評】 収集した情報を整理して、海の生き物や、海の生き物を飼育する仕事、漁業者と水族館との関わりについて分かったことを自分の言葉で表しているか。</p>
20時 ～ 24時	<b>発表会の練習をしよう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに発表練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べて分かったことや考えたことが相手に伝わる発表になるよう机間指導する。</li> <li>・見やすく、聞きやすい発表になるよう助言する。</li> </ul> <p>【評】 まとめた内容をもとに、海の生き物や海に関わる仕事について、どのように相手に伝えるかを考えながら発表練習しているか。</p>

<p>25 ・ 26 時</p>	<p><b>発表会をしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表資料を使って、学習したことを発表する。</li> <li>・感想や質問をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習中の様子や、各班が調べてまとめた内容をおおまかに説明する。</li> <li>・練習の様子や発表で良かった点を伝える。</li> </ul> <p><b>【評】</b> 海の生き物や海に関わる仕事について、どのように相手に伝えるかを考えながら、自分の言葉で相手に伝えているか。</p> <p><b>【評】</b> 海の生き物や海に関わる仕事に携わる人々の願いを共感的に捉えながら、海を大切にするために自分なりにできそうなことを発言しているか。</p>
------------------------------	--	---

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 26 時間中の 5～8 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

水族館のバックヤード見学を通して、海の生き物やその飼育方法などについて知り、地元の海や生物について関心をもつとともに、地元水産物をはじめとした食育授業を通して、身近な食と水産物との関わりについて理解することができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 浅虫水族館のバックヤードを見学し、水槽の仕組みや飼育方法、働く人の工夫などを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水槽の上って、こうなっているんだね。</li> <li>・海水がどうやって来るのか分かったよ。</li> <li>・魚たちの体についている病気を落としてから、水槽に入れるんだ。</li> <li>・えさを食べる練習もするんだ。</li> <li>・陸奥湾には、こんなにいろいろな種類の生き物がいるのか。</li> <li>・魚によって、えさを変えているんだね。</li> <li>・水槽の中は、魚の住んでいる環境に合わせてつくっているんだ。</li> <li>・飼育員さんが工夫しているから魚が元気であるんだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水槽を真上から見せて展示方法や工夫を知らせたり、海水の流水路についてパネルを使って説明したりする。(浅虫水族館職員)</li> <li>・水族館の生き物には、どんなえさを与えているのか知らせる。(浅虫水族館職員)</li> <li>・海の生き物と浅虫水族館職員の仕事内容や関わりを児童に教える。</li> </ul>
<p>2 館内の見学をする。(イルカショー含む) 浅虫水族館職員・青森市水産振興センター職員への質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水族館にいる生き物はどこで捕まえたのですか。</li> <li>・全部で何種類くらいの生き物がいるのですか。</li> <li>・水族館の仕事で大変なことはなんですか。</li> </ul> <p>(浅虫水族館からゆ～さ浅虫へ移動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水族館職員の仕事について興味をもたせ、働く喜びや苦勞などから、海の生き物に対する願いを知るきっかけをつくる。</li> </ul> <p>【評】海の生き物や地元の海で捕れる生き物について知りたいことを質問し、情報収集を進んで行うことができたか。(行動観察)</p>
<p>3 浅虫水族館職員による食育授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚離れって、初めて聞いたよ。</li> <li>・魚離れは日本全体の課題なんだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚の食育授業をする。(浅虫水族館職員)</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業をする人が減っているんだね。</li> <li>・ハンバーガーなどいろいろな食べ物を食べるようになったことが魚離れにつながっているんだね。</li> <li>・ぼくはほとんど毎日魚を食べているよ。</li> <li>・魚離れが進むと環境にもよくないなんて知らなかった。</li> <li>・魚は苦手だけど、健康によい食べ物だからもう少し頑張って食べようと思った。</li> <li>・食べたことがない魚もある。食べてみたいな。</li> </ul> <p>4 魚や海産物を使った料理の模型を見たり、触ったりしながら身近な食と水産物との関わりを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これはマグロだ。大きくて重いなあ。</li> <li>・サメってよく見るとかわいい顔をしているね。</li> <li>・この魚は目がすごく大きいよ。なんという魚のかな。</li> <li>・サンマの塩焼きおいしいよね。</li> <li>・魚料理ってこんなにたくさんあるんだね。</li> </ul>	<p>【評】魚離れの現状やその要因、魚を食べることによる健康効果などを理解し、今後の自分の食生活への関心を高めることができたか。(行動観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚や海産物を使った料理の模型を、手に取りながら見られるようにする。</li> <li>・水産物を使用した料理や、食べたことのない料理などについて知らせる。</li> </ul>
---	---

### 3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に漁業関係者がいる家庭が多いため、海や海の生き物に関心をもち、初めから意欲的に学習に取り組むことができた。</li> <li>・各施設を見学したり、詳しく説明していただいたりしたことで、学習に対する意欲がさらに増し、興味や疑問をもって学習に向かうことができた。</li> <li>・浅虫水族館では、班行動をさせることで効率よく見学ができた。また、カメラ撮影を任せたり質問の時間を設定したりすることで、主体的に学習に参加することができた。</li> <li>・引率補助として青森市水産振興センターの職員に同行していただいたおかげで、疑問に思った事をその場で教えていただき、様々な情報を得ることができた。</li> <li>・普段は見られないバックヤードの見学や、体験コーナーでの本物を手にとる体験、模型を触ってみる体験などをしたことにより、海や海の生き物をより身近なものとして捉えることができた。</li> <li>・各施設を見学して仕事の様子を見たり、質問をしたりしたことで、働く人は人々のため、また海の環境を守るためにたくさんの工夫や苦勞をしていることに気付くことができた。</li> <li>・魚の食育授業により、魚離れが進んでいること、魚離れが進むと海の環境にもよくないことを学ぶことができ、食としての魚への関心が高まるとともに、魚をとおして海洋環境の保全にも目が向くきっかけとなった。</li> </ul>
---

#### 4. 今後の課題

- ・学級で発表会を行って他グループの発表を見ることができたが、下学年への発表をする機会をもてなかったため、新型コロナウイルス感染症対応が解消された際には、異学年交流を通して進めることで北小学校の海洋教育の学びを深めることができるのではないか。

#### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし